

平成 28 年度版 光村図書 中学校「美術 2・3」
新学習指導要領に対応した題材内容一覧および観点別評価規準例の見方

令和 3 年度の中学校 第 3 学年では、令和 2 年度に 2 年次で配本された平成 28 年度版「美術 2・3」の教科書を使用します。新しい学習指導要領にもとづいて指導するためには、目標や評価規準を対応させる必要があります。第 3 学年の年間指導計画作成の際には、以下の「新学習指導要領に対応した題材内容一覧および観点別評価規準例」をご参照ください。

平成 29 年告示の新学習指導要領では、全ての教科等の目標および内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」という「三つの柱」で整理されました。この新しい目標にもとづき、評価規準も 4 観点から、3 観点に変更されました。

美術科の指導内容は、旧学習指導要領から大きな変更点はないため、平成 28 年度版「美術 2・3」も新学習指導要領における学習に十分対応できますが、目標と評価規準は新学習指導要領に対応させる必要があります。以下の一覧を参照して題材の目標と評価規準を対応させてください。

①平成 28 年度版「美術 2・3」教科書の題材名および学習活動

平成 28 年度版「美術 2・3」教科書の分野、領域、ページ数、題材名、配当時間および学習活動を示しています。

②新学習指導要領に対応した目標

新学習指導要領に対応させて、表現中心の題材では「表現」に関する目標と「鑑賞」に関する目標の 2 項目、鑑賞中心の題材では「鑑賞」に関する目標の 1 項目を記載しています。

③新学習指導要領に対応した観点別評価規準例

新学習指導要領に対応させて、表現中心の題材では 3 観点、6 項目の評価規準例を、鑑賞題材では 3 観点、3 項目の評価規準例を示しています。記載しているのはそれぞれ「おおむね満足できる状況」(B) の評価規準です。

省略した表記はそれぞれ次のようになります。

「知」＝「知識・技能」の知識に関する評価規準

「技」＝「知識・技能」の技能に関する評価規準

「発」＝「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準

「鑑」＝「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準

「態表」＝表現の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

「態鑑」＝鑑賞の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

④新学習指導要領との関連

新学習指導要領との関連を示しています。〔共通事項〕については、全ての題材に共通して当てはまることからこの一覧表では省略しています。

⑤道徳との関連

道徳科の 22 の内容項目から関連するものを示しています。

教科書の内容			新学習指導要領への対応											
分野	領域	題材名 (配当時間)	学習活動	目標		観点別評価規準例			学習指導要領との関連		道徳との関連			
				表現	鑑賞	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		A表現	B鑑賞	
						知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)			
はじ	鑑賞	P.2~4 感じたことを話し合おう (1~2時間)	○巻頭文「うつくしい！」をきっかけに、美をつくりだそうとする人間の心、美の多様性や永続性などについて考える。 ○「阿修羅像」を鑑賞し、よさや美しさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもたせ、作品の見方を深める。	阿修羅像を鑑賞し、表情やしぐさから、作品に込められた願いや表現の工夫を感じ取る。	形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをとらえ、阿修羅像に込められた願いや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。				阿修羅像の造形的なよさや美しさを感じ取り、表情やしぐさ、色彩などの表現の工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。		美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に阿修羅像の表情やしぐさ、色彩などの工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア(ア) イ(イ)	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度/感動、畏敬の念